

御所湖隨想

H23年6月 No.24

やまぼうし

多くの被災者が「つなぎ温泉」や「鶯宿温泉」に避難されております。5月半ばにも鶯宿温泉にある広場に「かおりを楽しむ花木」を避難されている方とともに植樹をしました。そして6月26日には公園整備中の町場地区園地を会場に、「東日本大震災復興支援事業」として岩手県企業局植樹活動支援事業の助成を受けて植樹を行うことになり、樹高5mの木を2本、1.5mの木を10本植えました。樹種はベニバナヤマボウシとヤマボウシです。御所湖畔が眺められ、岩手山が背景となる場所にあります。6月になると御所湖の周辺にも白い花のヤマボウシが咲きだします。いっしょに眺めてみませんか

ヤマボウシの花言葉は「友情」です。「御所湖の夫婦ヤマボウシ」として大切に見守っていきたいと思います。



和名 ヤマボウシ（山法師） 別名 ヤマグワ（山桑）

「山法師」の名前は、中央の丸い花穂を僧侶の頭に、4枚の白い総苞片を白い頭巾に見えることから名づけられたそうです。また、秋に赤く熟す果実の表面がブツブツして桑の実のようなので、「山桑」ともいいます。

花 6月～7月上旬

その他 高さ5～15mになる落葉高木です。6月に咲く木の花は白が多く、その中でも花期が長いのでよく目立ちます。また、秋の紅葉もすばらしく、さらに赤く熟した実は果実酒としても絶品という人もおります



植樹当日は曇っており岩手山が隠れていましたが、多くの方々の参加を得て、無事終了しました。ヤマボウシと岩手山のツーショットは中央写真で想像してください！